

## 永福北ろ一どが安全快適になりました！

永福町駅の北に真っすぐ伸びる「永福北ろ一ど」が、電線類の地中化や道路のカラー舗装などを終え、安全快適な商店街として生まれ変わりました。24日には、完成記念イベントが開催され、地域住民とともにお祝いします。

京王電鉄井の頭線永福町駅北側の井の頭通りから方南通りまでの800mほどの商店街が「永福北ろ一ど」です。ここには、永福町駅北口商和会（会長：桜井義晋・さくらいよしのぶ）に加盟する飲食店や食料品、生活用品を取り扱うおよそ180件の商店が軒を連ねています。しかし、この道路は、約8mの幅員があって、南から北に向かって一方通行のため、地域住民が買い物などをする商店街にも関わらず、自動車の交通量が多く、スピードを出すことが問題となっていました。



工事前の様子

平成16年、杉並区は商店会などと協議を重ね、交通安全と商店街の活性化を合わせた道路改修を計画しました。それが、電線類の地中化と道路のカラー舗装です。

電線類の地中化を行うには、一般的に地中に電線管を埋設するスペース、電柱上のトランスを地上に設置するスペースの確保が必要になるため、基本的には歩道と車道が分離しているなど、広い幅員の道路を対象としていますが、ここでは全国的にも採用例の少ない柱状型機器用支持柱と呼ばれる街路灯兼用の柱にトランスを設置する工法を用いて、歩道のない道路での電線類の地中化が実現しました。電柱が無くなり広がった路側部分のカラー舗装を行うことで、歩行者や買い物客の安全で快適な歩行空間の確保、合わせて交差点のカラー化による視覚効果で交通安全の向上が期待できます。



電線類の地中化とカラー舗装工事完了

平成20年から6年の工事期間を経て、約100本あった電柱や装飾灯、街路灯が39本に減少。路上の電線類はすべてなくなり、明るくきれいで安全な商店街が完成しました。商店街の店主たちも、待ちわびた道路の完成で、やる気もみなぎっています。昨年暮れに公募した「きたきた福が来た 永福北ろ一ど♪」をキャッチフレーズに、様々なイベントを企画。24日午前10時から12時には、「永福北ろ一ど・完成記念式典」を開催予定で、車両通行止めにして日大鶴ヶ丘高校プラスバンドによるパレードや抽選会などで、永福北ろ一どの完成を祝います。

【報道機関 問い合わせ先】都市整備部土木計画課 TEL：3312-2111

産業振興センター TEL：5347-9138

総務部広報課 TEL：3312-2111